



ごさまる通信



★おはなし会は
まいつきだい にちようび
★毎月第2日曜日です!★

★おはなしかい★

2月11日(日)
じかん…10:30~
ばしょ…1かいまどぎわスペース

おはなし会は、何歳からでも、
どなたでもご参加いただけます。
参加費や申込は必要ありません。
どうぞお気軽にご参加ください♪



としょかん De 午後の映画館

作品: 「梅切らぬバカ」
日時: 2月28日(水)
14:00開演
場所: 3階企画展示室

作品: 「PLAN75」
日時: 3月6日(水)
14:00開演
場所: 3階企画展示室

令和5年度 沖縄県読書感想文・感想画コンクール

中城村児童生徒作品展

日時: 令和6年2月9日(金)~2月23日(金)

10:00~17:00

※13日・14日・15日・20日は閉館日のため、お休みです。

場所: 護佐丸歴史資料図書館 3階 企画展示室

「沖縄県読書感想文・感想画コンクール」の応募作品を中心に、村内小中学校の児童生徒が一生懸命かいた絵や作文を、護佐丸歴史資料図書館で展示します!

子どもたちの成果をぜひご覧ください!

2月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
 3月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

新着図書

司書おすすめの新着本を紹介します！

一般・児童・郷土の
おすすめ!



おすすめ雑誌

BRUTUS 2024 1/1・15 合併号

- ・理想の本棚。
- ・いまでも出会える本棚。
- ・私の本棚の、絶対に捨てられない1冊。

	タイトル	著者名	分類
一般	『源氏物語』のリアル	繁田 信一／著	210.3 シ
一般	窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子／著	B 914.6 ク
一般	ジェット旅客機のしくみ	中村 寛治／著	538.6 ナ
児童	いみちえん ①～⑱	あさば みゆき／作	J 913 ア
児童	しずくちゃん ⑳～㉔	ぎぼ りつこ／作・絵	J 726 ギ
児童	ふくびき	くすのき しげのり／作	E フ
郷土	南西諸島 1200km	加藤 久豊／著	K740 カ
郷土	小島よしおのボクといっしょに考えよう	小島 よしお／著	JK150 コ
郷土	放課後ミステリクラブ 2 雪のミステリーサークル事件	知念 実希人／作	JK913 チ

館長通信 VOL.36 カレーの匂いがする草

私の部屋にカレーの匂いがする不思議な干し草が置いてあります。昨年、南城市大里で採集しました。この草は「モロコシソウ」といい、首里方言では「ヤマクニブー」、やんばる方言では「アンダグサ」と呼ばれます。「クニブー」はミカンなので、直訳すると「山ミカン」ですが、匂いは柑橘系には程遠い気がします。「アンダグサ」は葉に油を塗ったような光沢があるためとのこと。与論島出身の栄喜久元さんは『奄美風土記』（1979年）で「昭和十年前後のことであるが母は、正月豚の上等な白肉から油をとりびんに入れていたが、その中にこのハバシムヌと呼ばれる草を入れていた。それを髪につける油にしていた」と述べ、「アンガ（娘）クサと言って沖縄の人が売りに来た」という名瀬の古老の話も併せて紹介しています。『与論島語辞典』（山田實、1995）によると、「ハバシヤ」は「匂いの良いこと」なので、「ハバシムヌ」は「匂いの良いもの」という意味でしょうか。「アンガクサ」は、やんばるでの呼称が違う意味で伝わったのかも知れませんが、この植物が女性の髪や着物の香料でもあったことを考えると、これはこれで相応しい名前だなと思います。いずれにせよ、日常的に用いられていたのですね。と、ここ迄書いて、昔よく行った本部町のそば屋の店内に干し草の束がつるしてあり、いつも独特な匂いを漂わせていたことを突然思い出しました。あれはモロコシソウでした！40年近く経って気付いた次第です。